



7月31日の検討委員会の様子。

別表：検討委員名簿(敬称略)

氏名	
1 河東 義之	小山工業高等専門学校名誉教授
2 永井 護	宇都宮大学教授
3 小風 秀雅	お茶の水女子大学大学院教授
4 中川 光熹	日光市文化財保護審議会会長
5 長岡 均	日光市足尾地域自治会会長
6 神山 勝次	足尾銅山の世界遺産登録を推進する会会長
7 幸崎 雅弥	古河機械金属(株)執行役員環境保安管理部長
8 池部 清彦	古河機械金属(株)足尾事業所長



足尾銅山を世界遺産へ

世界遺産国内暫定一覧表への追加記載の再提案に向けて

明を受けました。

産業遺産の保存・活用と環境学習推進協議会

足尾の地域資源を活用し、地域が一体となった取り組みを行うため、5月末に足尾地域の産業遺産の保存・活用と環境学習推進協議会が設立されました。この協議会は、足尾地域の市民団体、古河機械金属(株)足尾事業所、日光市に加え、宇都宮大学にも地域貢献事業として参加いただいたことで、産学官民連携組織となりました。その会長には進村武男(宇都宮大学学長)が選出されました。今後は、この協議会を中心に地域資源を生かした特色ある地域づくりが進められます。

その一方で、産業遺産の保存活用を進めるに当たり、これらの大部分について老朽化が進行している問題があります。中でも製錬所の劣化は著しく、倒壊の危険もあります。そのため、製錬所の所有者である古河機械金属(株)、監督官庁の経済産業省より鉱山保安法に基づいて使用していない施設の解体指導を受けています。

このような状況の中、市民の皆さんからは、「製錬所はなくなってしまうのか」との質問を数多く受けて

市では、世界遺産登録の前提となる国内暫定一覧表への追加記載の再提案に向けて、7月に検討委員会を開催し今後の取り組み方を協議しました。今回は、現在の活動状況や今後の取り組み、さらに、10月に開催予定のシンポジウムについてお知らせします。

再提案の時期

6月定例市議会での議員からの質問に対し、市長は「文化財指定の進捗状況や構成資産などの再検討、および保存・管理計画などが整った後でということになります。平成23年度末をめどに再提案を目指します」と回答しています。事務局でもこれに合わせて準備を進めています。

世界遺産登録推進検討委員会

7月31日(金)、足尾公民館で今年度1回目、また通算で5回目の足尾銅山の世界遺産登録推進検討委員会を開催しました。

- 委員の再委嘱
- 委員の任期満了により再委嘱(名簿は別表のとおり)を行いました。
- 専門調査委員会設置の報告
- ①鉱毒防除技術の世界史的・国際

的な視点から顕著な普遍的価値の証明 ②国内外の同種資産との比較研究 ③構成資産の文化財指定 といふ3つの大きな課題解決のため、今年度から検討委員会のなかに、「歴史」と「構成資産整備活用」の2つの専門調査委員会を設置したことを事務局から報告しました。

- 今年度の活動目標
- 歴史専門調査委員会では、古河関係資料の調査を引き続き行いながら、その成果に関する報告書をまとめること。整備活用専門調査委員会では、世界遺産登録の際に必須となる保存管理計画策定に向けた事前調査の実施や、今後の文化財指定に向けたスケジュールの策定を行うことを、今年度の目標としました。

会議終了後には、改修・解体が進む製錬所で、古河機械金属(株)足尾事業所から工事の進捗状況について説

きます。しかし、製錬所については、これまでも古河機械金属(株)と協議を重ねてきた経緯もあり、解体に際しては、建築史や産業史の専門家の方と現地調査を行い、安全を確保しつつ、文化財の価値を損ねないような方法を探りながら保存を進めています。

またほかの資産についても、検討委員会の助言や協議会意見も伺いながら、保存・活用を進めていきます。



明治末期に建設された掛水重役宅(所長宅)。

成果を積極的に啓発していくため、昨年度に引き続き市民団体との協働事業として、パンフレットの作成やシンポジウムの開催などに取り組みます。また、資料集の編集・発行を行い、さらに、昨年度新たに作成した専用ホームページ「足尾銅山の世界遺産登録をめざして」(http://nikko-ashio.jp/)も活用しながら、世界遺産にふさわしい足尾銅山の価値の情報発信を行います。

シンポジウムの開催

10月17日(土)、足尾公民館で昨年度と同じように、足尾銅山の世界遺産登録を推進する会と共同で、シンポジウムを開催する予定です。

今回の内容は、基調講演やパネルディスカッションのほかに、足尾銅山の産業遺産の現地見学会を予定しています。足尾銅山についての理解を深めるとともに、平成23年度末の再提案に向けて、どのようなことに取り組んでいくべきか、パネリストや参加者の皆さんと一緒に考えます。詳細は、広報につき10月号と専用ホームページに掲載する予定です。市民の皆さんのたくさんのご来場をお待ちしています。

足尾銅山の価値の情報発信

世界遺産登録への取り組み姿勢や

くわしくは

生涯学習課 世界遺産登録推進室

☎(21)5182